

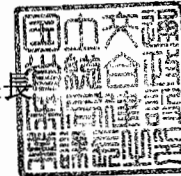
国総施第 57号
国総建第 109号
国総振第 79号
平成17年 8月 5日

社団法人
日本建設機械化協会 会長 殿

国土交通省総合政策局 建設施工企画課長



国土交通省総合政策局 建設業課長



国土交通省総合政策局 建設振興課長



リコールの届け出に伴う建設機械の事故防止について（7月分）

今般、国土交通省に対し、下記のリコールの届出がなされたところであるが、建設作業現場における当該建設機械の使用に際しては、事故防止の観点から貴団体傘下の会員各社に対し周知されたい。

記

1. 届 出 日 別紙のとおり
2. 届 出 者 〃
3. 建 設 機 械 名 〃
4. 通 称 名 〃
5. 型 式 〃
6. 不 具 合 の 部 位 〃
7. 内 容 〃

※国土交通省のホームページに「リコール・改善対策の届け出」があったものを掲載しております。
アドレスは下記のとおりです。

http://www.mlit.go.jp/jidosha/recall/recall05/recall_.html

建設機械に係わるリコール届出一覧 (期間:平成17年7月分)

番号	届出日	届出者	建設機械名	通称名	型式	不具合の部位	リコール対象台数
1	平成17年7月5日	コベルコ建機(株)	ショベル・ローダ	LK40Z,LK50Z	RW1,RW02,RW03,SA-RW03,RX1,RX02,RX03,SA-RX03	走行装置 (フロントアクスル取付けボルト)	1627台
2	平成17年7月5日	酒井重工業(株)	グレーダ	ER550F,ER551F	MER6,MER9,SD-MER9	動力伝達装置(電気制御式前後進 コントロールユニット)	60台
3	平成17年7月26日	(株)タダノ	ホイール・クレーン	OREVO350	SD-T001	動力伝達装置	2台

※詳細は別添の「リコール届け出一覧表」を参照して下さい。
 ※6月分の建設機械に係わるリコールの届け出はありませんでした。

連絡先:自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室

TEL: 03-5253-8111(内線 42-353)

アドレス: <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

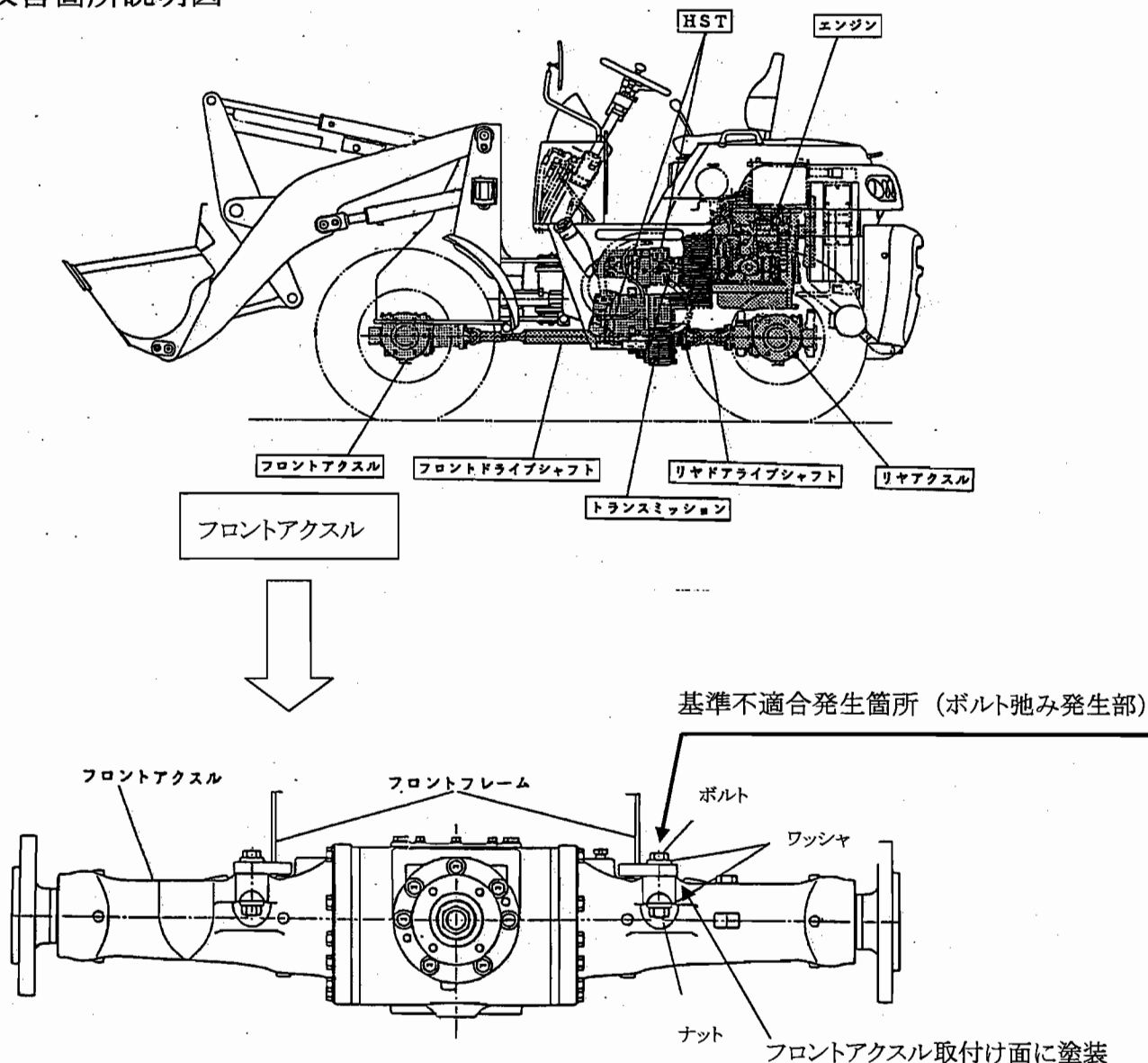
リコール届出日:平成17年7月5日

リコール届出番号	1469	リコール開始日	平成17年7月6日
届出者の氏名又は名称	コベルコ建機株式会社 製作者:コベルコ建機株式会社 代表取締役社長 島田 博夫 問合せ先: 開発生産本部 広島工場品質保証室 TEL 082-874-7277		
不具合の部位 (部品名称)	走行装置(フロントアクスル取付けボルト)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	フロントアクスルを車台に固定する取付けボルトの締付けトルク設定値が不適切であるため、除雪等の作業時の負荷の繰り返しにより当該ボルトがゆるむ恐れがある。また、一部の車両において、当該フロントアクスル取付け面に塗装が残っていたため、取付けボルトの初期締付けトルクが低下したものがあある。そのため、そのまま使用を続けると、当該締付面にガタが生じ、最悪の場合、当該ボルトが折損しフロントアクスルが脱落するおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、フロントアクスル取付けボルトを交換し、適切なトルクで締付ける。またフロントアクスル取付け面に塗装が残っている車両にあっては、当該フロントアクスル取付面の塗装を除去する。		
不具合件数	2件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備業者に周知させるための措置	・使用者:使用者を全て把握しているので、直接訪問して通知し対応する。 ・自動車分解整備業者:使用者を全て把握しているので周知のための措置は採らない。 ・対策完了車両にはステッカーNo.1469を運転座席下の原動機ボンネット前面に貼り付ける。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
神鋼	RW1	LK40Z	RW01-00001~RW01-00348 平成4年11月6日~平成7年9月30日	282台	
コベルコ	RW02		RW02-00401~RW02-00834 平成7年7月1日~平成15年1月30日	396台	

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
コベルコ	RW03	LK40Z	RW03-01001~RW03-01117 平成14年12月13日~平成16年5月31日	88台	
	SA-RW03		RW03-01118~RW03-01284 平成16年7月3日~平成17年5月9日	167台	
神鋼	RX1	LK50Z	RX01-00001~RX01-00250 平成4年11月6日~平成7年9月30日	208台	
コベルコ	RX02		RX02-00301~RX02-00663 平成7年7月1日~平成14年12月17日	347台	
	RX03		RX03-01001~RX03-01104 平成14年12月13日~平成16年5月31日	95台	
	SA-RX03		RX03-01105~RX03-01148 平成16年10月18日~平成17年5月20日	44台	
	(計8型式)	(計2車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成4年11月6日~平成17年5月20日	(計1627台)	

改善箇所説明図



フロントアクスルを車台に固定する取付けボルトの締付けトルク設定値が不適切であるため、除雪等の作業時の負荷の繰り返しにより当該ボルトがゆるむおそれがある。また、一部の車両において、当該フロントアクスル取付け面に塗装が残っていたため、取付けボルトの初期締付けトルクが低下したものがあ。そのため、そのまま使用を続けると、当該締付面にガタが生じ、最悪の場合、当該ボルトが折損しフロントアクスルが脱落するおそれがある。

改善措置の内容

全車両、フロントアクスル取付けボルトを交換し、適切なトルクで締付ける。またフロントアクスル取付け面に塗装が残っている車両にあっては、当該フロントアクスル取付面の塗装を除去する。

識別： フロントアクスルに白色ペイントを塗布する。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量(CC))	備考
神鋼	RW1	LK40Z	小型特殊・建設 機械	ショベル・ローダ	ヤンマー3TN84 (1,429)	
コベルコ	RW02	LK40Z	小型特殊・建設 機械	ショベル・ローダ	ヤンマー3TNE84 (1,496)	
コベルコ	RW03	LK40Z	小型特殊・建設 機械	ショベル・ローダ	ヤンマー3TNV84 (1,496)	
コベルコ	SA-RW03	LK40Z	小型特殊・建設 機械	ショベル・ローダ	ヤンマー3TNV84 (1,496)	
神鋼	RX1	LK50Z	小型特殊・建設 機械	ショベル・ローダ	ヤンマー3TN84 (1,429)	
コベルコ	RX02	LK50Z	小型特殊・建設 機械	ショベル・ローダ	ヤンマー3TNE84 (1,496)	
コベルコ	RX03	LK50Z	小型特殊・建設 機械	ショベル・ローダ	ヤンマー3TNV84 (1,496)	
コベルコ	SA-RX03	LK50Z	小型特殊・建設 機械	ショベル・ローダ	ヤンマー3TNV84 (1,496)	

連絡先 自動車交通局技術安全部審査課
 リコール対策室
 TEL 03-5253-8111 内線 42353
 アドレス: <http://www.mlit.go.jp>

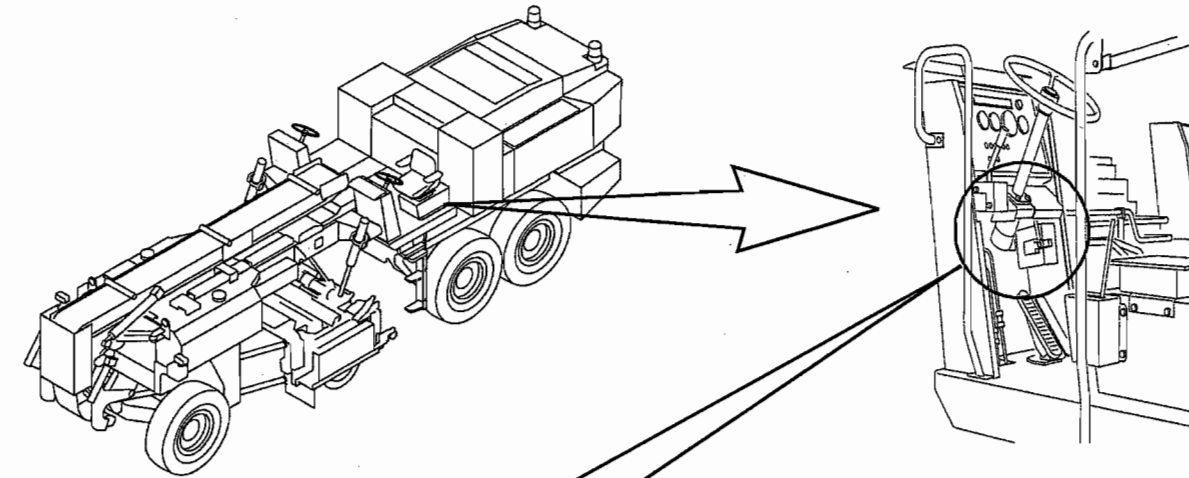
リコール届出一覧表

リコール届出日：17年7月5日

リコール届出番号	1474	リコール開始日	平成17年7月5日
届出者の氏名又は名称	酒井重工業株式会社 代表取締役社長 酒井一郎 問い合わせ先：品質保証室 TEL 049-261-2850		
不具合の部位（部品名）	動力伝達装置（電気制御式前後進コントロールユニット）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	電気制御式前後進コントロールユニットにおいて、配線取出し部の防水構造が不適切なため、洗車等により当該取出し部からユニット内部に水が浸入し、可変抵抗部が錆びて腐食することがある。そのため、その状態で使用を続けると、導通不良を起こし、最悪の場合、後進操作時に前進してしまうおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、電気制御式前後進コントロールユニットを対策品に交換する。		
不具合件数	国内： 1件	事故の有無	なし
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：直接訪問し、通知する。 ・自動車分解整備事業者：弊社指定サービス工場に周知する。 ・改善実施済車には、右側ダッシュボードの後面 ID プレート付近にNo.1474のステッカーを貼付する。 		

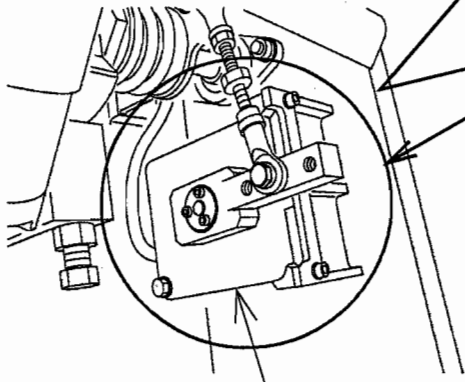
車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
サカイ	MER6	ER550F	MER6-10194～MER6-10214 平成14年8月31日～平成15年6月30日	20	
	MER9	ER551F	MER9-10101～MER9-10131 平成14年6月20日～平成16年9月27日	31	
	SD-MER9		MER9-20132～MER9-20140 平成16年9月27日～平成17年5月23日	9	
	(計3型式)	(計2車種)	(製作期間の範囲) 平成14年6月20日～平成17年5月23日	(計60台)	

改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

電気制御式前後進コントロールユニットにおいて、配線取出し部の防水構造が不適切なため、洗車等により当該取出し部からユニット内部に水が浸入し、可変抵抗部が錆びて腐食することがある。そのため、その状態で使用を続けると、導通不良を起こし、最悪の場合、後進操作時に前進してしまうおそれがある。



電気制御式前後進コントロールユニット

改善の内容

全車両、電気制御式前後進コントロールユニットを対策品に交換する。

改善前	改善後(対策品)
	<p data-bbox="686 1825 885 1870">通気孔を追加</p> <p data-bbox="1013 1825 1380 1870">防水型配線クランプに変更</p>

注) は、追加・変更部品を示す。

識別：電気制御式前後進コントロールユニットに、防水型配線クランプを有することで識別する。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式(総排気量(cc))	備考
サカイ	MER6	ER550F	大型特殊・ 建設機械	グレーダ	Q19 (18,942)	
	MER9	ER551F			QSX15 (15,022)	
	SD-MER9				QSX15 (14,948)	

連絡先 自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室
 TEL 03-5253-8111 内線42353
 フォン : <http://www.mlit.go.jp>

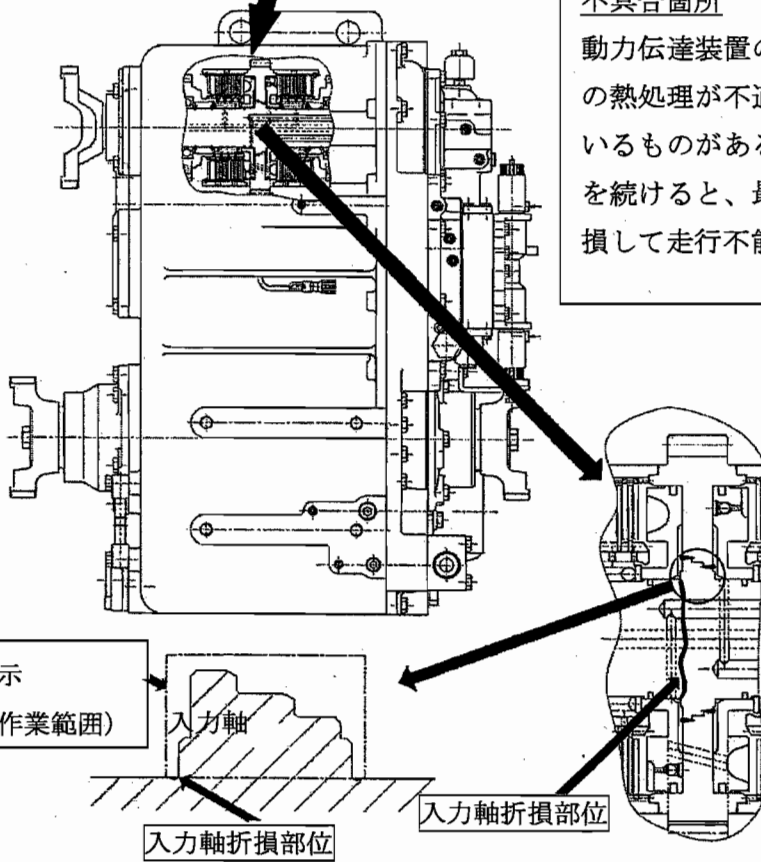
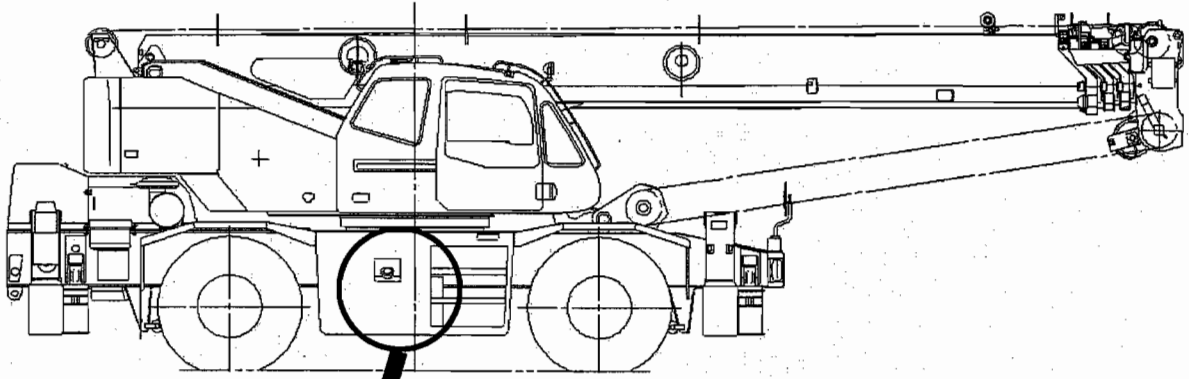
リコール届出一覧表

リコール届出日：平成17年7月26日

リコール届出番号	1495	リコール開始日	平成17年7月26日
届出者の氏名又は名称	株式会社 タダノ 取締役社長 多田野 宏一		問合せ先：品質安全部 TEL (087)894-7550
不具合の部位(部品名)	動力伝達装置		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	動力伝達装置のトランスミッション入力軸の熱処理が不適切なため、強度が不足しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、最悪の場合、当該入力軸が折損して走行不能にいたるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、トランスミッション一式を良品と交換する。		
不具合件数	3件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：使用者を直接訪問し通知する。 ・自動車分解整備事業者：全使用者を把握しているため、周知のための措置は取らない。 		

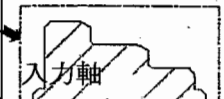
車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
タダノ	SD-T001	CREVO350	T001-0003, 0004 平成16年7月7日～平成16年8月9日	2台	
	(計1型式)	(計1車種)	(製作期間全体の範囲) 平成16年7月7日～平成16年8月9日	(計2台)	

改善箇所説明図



不具合箇所
 動力伝達装置のミッション入力軸の熱処理が不適切なため、強度が不足しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、最悪の場合、当該入力軸が折損して走行不能にいたるおそれがある。

不適切な熱処理指示
 (浸炭防止剤塗布作業範囲)



入力軸折損部位

入力軸折損部位

改善内容
 全車両、ミッション一式を良品と交換する。

良品の熱処理指示
 (浸炭防止剤塗布作業範囲)

識別：ミッションハウジング底面に白色ペイントを塗布する

(リコール対象車の主要諸元)

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量(CC))	備考
タダノ	SD-T001	CREV0350	大型特殊	ホイール・クレーン	三菱6M60 (7,545)	